



『内部統制報告制度』における 制度対応の「簡素化・最適化」のための実践的方策

～講師が現場レベルで直面した様々な課題とその解決の方向性について解説～

主催：(株)企業研究会／協力：TAC株

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

《開催要領》

日時▶ 2017年 6月 2日(金) 13:30～16:30
会場▶ 東京／企業研究会セミナールーム(東京：麹町)
名古屋／TAC名古屋校(名古屋：名鉄バスターミナルビル9F)
大阪／TAC梅田校(大阪：梅田センタービル5F)

《オンラインLIVEセミナーとは》

当セミナーは、講師が来場する東京会場をメイン会場として、その模様を名古屋会場・大阪会場に中継致します(名古屋会場・大阪会場への講師の来場はありません)。中継については、TV制作会社である(株)東通が担当し、双方向コミュニケーションにより、名古屋会場・大阪会場からの質疑応答も可能です。

講師 樋口公認会計士事務所 公認会計士・CIA・CFE 樋口洋介氏

1999年横浜国立大学経営学部卒業、2000年監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)入所、2006年樋口公認会計士事務所設立、2009年株式会社わかば設立、2013年ビジネス・ブレイクスルー大学大学院経営学研究科修了(MBA)。「組織の機能不全の防止・発見・是正」を事業ドメインとして、上場企業を中心に、内部統制の整備・運用支援、内部監査の整備・運用支援、不正調査業務を提供している。日本公認会計士協会 IT委員会 情報セキュリティ対応専門委員



《申込書送付先》 FAX▶03-5215-0951 ※当会HPからもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

受講料：1名(税込・資料代込) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

東京	正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
名古屋・大阪	正会員	32,400円(本体価格 30,000円)	一般	35,640円(本体価格 33,000円)

希望会場に「✓」をご記入下さい。		<input type="checkbox"/> 東京 (講師来場) 171234-0202	<input type="checkbox"/> 名古屋 171320-0202	<input type="checkbox"/> 大阪 171321-0202
ふりがな	会社名			
住所	〒			
TEL	FAX			
ふりがな	ご氏名		所 属	役 職
E-mail				

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させて頂きます。

■参加要領：申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(「TOP」→「公開セミナー」→「よくあるご質問」)
※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
■お申込・お問合わせ先：企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp
TEL：03-5215-3514 FAX：03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

……プログラム……

■開催にあたって■

内部統制報告制度への対応は、年数を重ねるごとにルーティン化してきています。しかし、基準の要求水準以上の過剰な対応を継続し、評価部門・評価対象部門双方の負荷が高いままとなっているケースも多くあります。この講座では、制度の本質に立ち返り、講師が現場レベルで直面した様々な課題とその解決の方向性について解説を行うことで、参加者の企業における制度対応の簡素化・最適化を目指します。

1. 内部統制報告制度の現実

- (1) 自社の制度対応業務について「なぜ、そうなっているのか」説明できますか？
- (2) 内部統制報告制度の基準と社内規程
- (3) なぜ、こうなってしまったのか？～制度導入時の背景

2. 評価範囲の検討に関する課題

- (1) 評価範囲の検討の前提
- (2) 全社的な内部統制の評価範囲における課題
- (3) 業務プロセスに係る内部統制の評価範囲における課題
 - ①重要な事業拠点
 - ②事業目的に大きく関わる勘定科目
 - ③個別に追加する勘定科目
 - ④IT全般統制
- (4) 最適化に向けた取り組み～方向性(案)

3. 文書化(RCM)の見直し

- (1) リスクについて(財務報告リスクと業務リスク/財務報告リスクの詳細)
- (2) コントロールについて
- (3) RCMの作成単位
- (4) 最適化に向けた取り組み～方向性(案)

4. 整備評価・運用評価に関する課題

- (1) サンプリングとは何か
- (2) 整備状況評価でのサンプリングにおける課題
- (3) 運用状況評価でのサンプリングにおける課題
- (4) その書類、なぜ作成しているのですか？
- (5) 最適化に向けた取り組み～方向性(案)

5. まとめと質疑応答

※最少催行人数に満たない場合には、開催中止となる場合がございます。

※セミナー中、映像及び音声のトラブルがあった場合、下記の通りご対応をさせて頂きますので、ご了承の上、お申し込みを頂けますようお願い申し上げます。

- 映像など切断了した場合、再接続してから講義を再開致します。
- 接続が回復できない場合、もしくは音声が届かなくなるなど配信品質が著しく低下した場合、受講料を返金させて頂きます。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。